

NEWS RELEASE

キャノンマーケティングジャパン株式会社
キャノンITソリューションズ株式会社**グループ統合情報システムのBCP体制を構築
データセンター移設支援サービスを開始**

キャノンマーケティングジャパン株式会社(代表取締役社長:川崎正己、以下キャノンMJ)は、このほどキャノンMJグループ基幹システムのメインサイトを、幕張事業所から西東京データセンターに移転しました。これにより、遠隔地バックアップとして沖縄データセンターで運用しているDR(ディザスタリカバリ)サイトと合わせ、強固なBCP(事業継続計画)型システム運用体制を構築しました。

ITソリューション事業の中核企業であるキャノンITソリューションズ株式会社(代表取締役社長:浅田和則、以下キャノンITS)は、今回のシステム構築事例で培ったノウハウを生かし、移設支援からシステム構築・運用、ネットワーク回線構築までワンストップで提供するデータセンター移設支援サービスを本格的に開始します。

2011年3月の東日本大震災以降、国内の企業では本社や拠点にある情報システムやサーバーを最新設備を備えたデータセンターに移設したり、地方などの遠隔地にバックアップサイトを設置しデータを分散化したりする需要が拡大しています。

キャノンMJグループは、2011年より開始した5カ年計画「長期経営構想フェーズII」の重点戦略において「グループ経営革新」を掲げ、グループ統合情報システムの安全性・安定性の向上を推進しています。2011年7月には、グループ企業のクオリサイトテクノロジーズ株式会社が運営する沖縄データセンターに、災害発生時のバックアップとしてグループ統合情報システムのDRサイトを3か月の短期間で構築しました。

そして今回、キャノンMJはグループ社員約2万人が利用する基幹システム全49ラックを、幕張事業所からキャノンITSが運営する西東京データセンターに、システム休止3日の短期間で移転しました。国内最高水準の設備やセキュリティに加え、強固な地盤、都心から1時間圏内などの特長を持つ西東京データセンターに移転することにより、安定稼働やセキュリティ、事業継続性などの面における従来の課題を解消することができました。

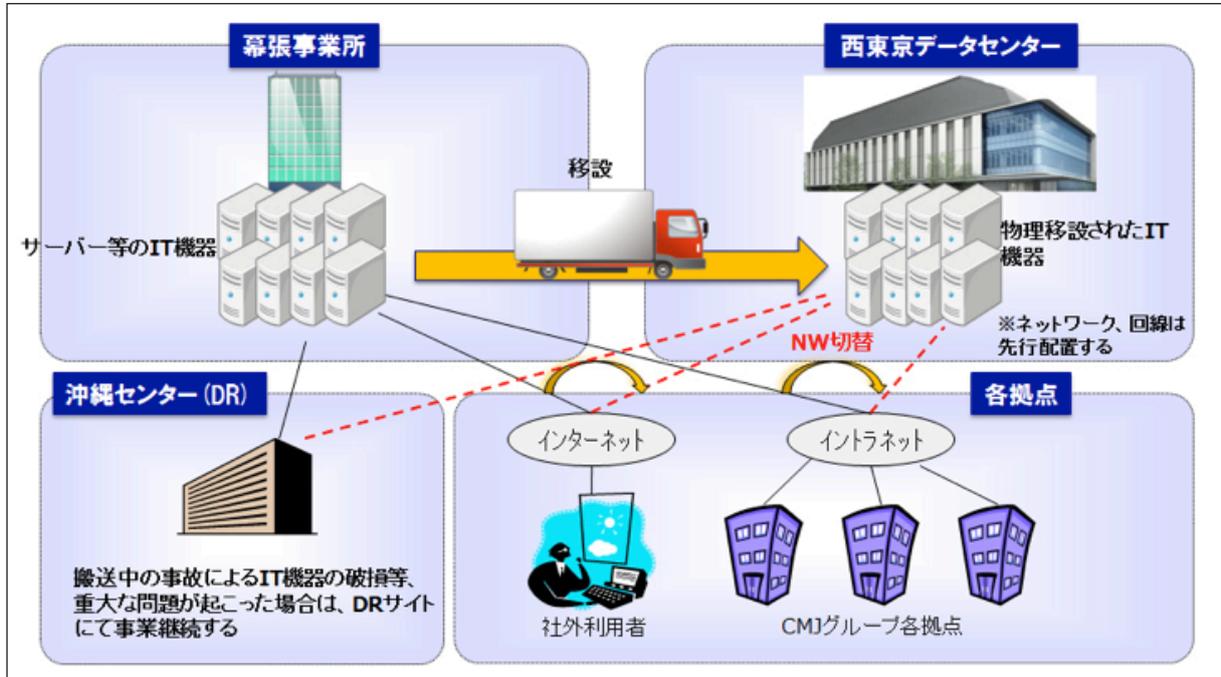
これら一連のシステム刷新により、メインサイトを最新鋭の西東京データセンターで、DRサイトを遠隔地の沖縄データセンターで運用するという、理想的なBCP型システム運用体制が完成しました。今後、グループ全体の部門システムやウェブサーバーをITサービス共通基盤「SOLTAGE」上で稼働させることで、さらなるセキュリティの強化とシステム運用の効率化を図っていく計画です。

キャノンITSは、今回のシステム構築事例で培ったノウハウを活用し、データセンター移設支援サービスを積極的に提案し、移設支援からシステム構築、ネットワーク回線、システム運用までワンストップで提供していきます。データセンター移設支援サービスでは、移設プロジェクトの立ち上げから既存システムの調査、要件定義、機材調達・運用環境準備、移設、運用にいたるまで、移設プロジェクト全体をマネジメントするコンサルティングサービスを用意しています。

本サービスにより、基幹システムのシステム停止時間を大幅に削減できることに加え、移転に伴うリスクやコストを最小限に抑えることが可能です。また、ヘルプデスクや監視サービス、運用・保守など、データセンター移設後のシステム運用サービスを含めて提供できるため、お客さまのシステムの安定稼働と運用効率の向上を実現します。

キャノンITSは、西東京データセンターを中心にデータセンター事業を強化していきます。キャノンMJグループは、データセンターサービスやシステム運用サービスなどのストック型ITサービス事業全体で2015年に売上高500億円を目指します。

■ メインサイト移転プロジェクトの概要(3日間全ての基幹システムを停止し移設)



■ キヤノン MJ グループのデータセンター拠点



- 報道関係者のお問い合わせ先 : キヤノンマーケティングジャパン株式会社
 広報部 広報第一グループ 03-6719-9093 (直通)
- 一般の方のお問い合わせ先 : キヤノンITソリューションズ株式会社
 IT サービスマネジメント事業部 03-6741-9431 (直通)
- システムマネジメントサービスホームページ : www.canon-its.co.jp/idc
- 報道関係者用ホームページ : canon.jp/e-pr

■ 西東京データセンターの概要

西東京データセンター

都心からの利便性が高いだけでなく、ティア4を実現する最新鋭の次世代データセンターです。

- 国内最高ランクのファシリティ
 - ・ティア4対応（一部オプション）
 - ・免震/制震装置
 - ・床耐荷重 1.5t/m²
- システム運用に最適なロケーション
 - ・都心より1時間圏内
 - ・武蔵野台地のほぼ中央（N値≧50以上）
 - ・地域危険度測定調査 1
 - ・災害発生時の交通規制を受けない立地（環状7号線の外側）
- 環境に配慮したグリーンDC
 - ・PUE = 1.4設計
 - ・高効率空調システム
 - ・局所冷却設備
 - ・自然エネルギー利用
- 高度なセキュリティ施設
 - ・3Dボディスキャナー採用
 - ・ローターゲート
 - ・ICカード/生体認証
 - ・X線持物検査装置
- きめ細かな運用サービス
 - ・システム管理（構成/変更管理含む）
 - ・業務システム運用
 - ・運用監視
 - ・資産管理
 - ・ファシリティ管理
 - ・基盤構築/維持



■ ファシリティ概要

建築物仕様	建設予定地	東京都西東京市	
	階数	地下1階～地上4階	
	敷地面積	16,883m ²	
	ラック数	1階：700ラック 2階：800ラック 3階：800ラック 計2,300ラック	
	構造	鉄骨造（柱CFT造） X方向・Y方向ラーメン構造	
	地震対策	免震装置、制震装置、縦揺れ制震ダンパー	
	階高	地下1F：8.0m 1/2F：5.45m 3F：5.4m	
	CPU室床高	1,000mm	
	CPU室床耐荷重	1.5 t/m ²	
	通信回線引込	異ルートによる回線冗長化が可能 ※マルチキャリア対応	
	電力受電	異なる変電所より複数経路にて受電	
	自家発電	72時間対応	
	消火設備	不活性ガス消火、超高感度煙検知器	
空調・冷却設備	床吹出型空調（17℃±2℃）、局所冷却設備（opt）		
配電	提供電力/ラック	最大（定格）	20kVA/ラック